

私の探鳥地（32）（野鳥だより 104号 1996年6月）

厚沢部「土橋自然観察教育林」

道川 富美子

ここは、私のお気に入りの探鳥地のひとつです。道南に来なければ見られないブナ林と、ヒバ（ヒノキアスナロ）林の深い森が、ここに 있습니다。

たいていは、2日間の休日を利用して出かけています。札幌を車で早朝に発ち、厚沢部町には昼頃着き、その時々で、俄虫の神社周辺とか俄虫溪谷あたりをぶらつきます。翌朝、明るくなると同時に土橋自然観察教育林の森の中に入り、昼食をとってから札幌へ戻るというパターンです。

数年前、どうしても見たい花を探しに出かけ、偶然立ち寄ったのがきっかけです。駐車場に車を止め、ドアを開けると、すぐ横の枝でオオルリがさえずり、まわりじゅうの樹からカラダの声が聞こえてきました。このままでは帰れないと、双眼鏡を首に、偵察と称して教育林へ入っていったのです。で、いくらもしない内に、いるとは思いつきもしなかったクマガウラが鳴きながら飛んであらわれ、目の前の太い幹をたたいてくれました。そこを離れて間もなく、アカショウビンが……。

どのあたりに、どんな鳥が、と書く必要は全くないと思います。この森は藩政時代から永く保護管理されてきて、原生に近い形の森だそうです。この中だけで、針葉樹林・広葉樹林・沼・沢……とさまざまな環境が用意され、何が出てくるかは行つてのお楽しみ、といったところでしょうか。

道はいくつかに分かれています、分岐点には、次の分岐点まで何 m と示された案内板が立ち、迷う心配はありません。ちょっとした登り降りがあり、湿り気を含んで滑りやすくなっている所さえ注意していただければ、安心して歩けます。落葉を厚く敷いた道が、足の疲れを吸い取ってくれます。

また厚沢部川右岸の太鼓山（標高 164m）は、山頂で飛び跳ねるとドンドンと音がする山で、雑木林やスギなどの植林地の中を自然歩道が通っています。ここもなかなか良い所です。

車ですと、砂坂海岸がすぐです。クロマツ海岸林の前浜は 1,500m にも及び、去年はアオアシシギを見つけました。厚沢部は渡りのコースと聞いています。私は、5月、ブナの展葉の頃、札幌とはまた違った春を楽しみに、欠かさず出かけております。

